

Handsome

輝

Handsome CONTENTS

巻頭記事 鳥取県西部中小企業青年中央会第37期会長決定!!
36th

3月例会開催

特集 輝業紹介

輝賓室

株さんれいフーズ 代表取締役副社長
松本 哲哉OB(第16期ご卒会)
| 拝啓、会員様 ~北口会長のひとりごと~

◆ 発行人 / 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 北口 智明 ◆ スローガン / 輝 かがやき ◆ テーマ / その先へ~Leap ahead~
◆ 編集責任者 / 担当 副会長 岩田 剛 ◆ 制作・編集 第36期総務委員会 / 委員長 竹ノ内 賢一郎 ◆ 印刷所 / 東京印刷(株)

その先へ

Leap ahead



東日本大震災の被害にあわれました皆様へ

3月11日に発生した東日本大震災におきまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

当会でも会員の家族、ご親戚、また取引先さまなど、大切な方々が今回の被災により被害を受けられています。鳥取県西部中小企業青年中央会として、この震災で被災されました皆様の救済及び被災地の復興に役立てて頂くために、わずかばかりではありますが義援金を贈らせて頂きます。

被災され不自由な生活を余儀なくされている皆様、及び地域全体が明日の希望を信じて前に進むことができますよう、心からお祈り致します。

鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 北口 智明

鳥取県西部中小企業青年中央会

第37期会長決定!!

森脇哲雄次年度会長のプロフィール

氏 名：森脇 哲雄

入会年月：平成13年3月入会

生年月日：昭和44年2月13日生 42歳

血液型：B型

出身地：千葉県野田市(26歳まで在住)

所属企業：大幸株式会社 代表取締役

家族構成：妻、長男(今春より中2)

ミニウさぎ(♀1歳)

好きなモノ：友人、知人達と語り合う時間

嫌いなモノ：飛行機など地面を離れて乗る乗り物

趣味：読書、スポーツ全般

尊敬する人：松本 啓OB

座右の銘：一期一会

中央会経歴：H21年度 会計担当

H22年度 副会長



3月例会

温故知新

～より豊かで住みやすい地域・故郷とは～
ペンを持った LAST SAMURAI ビル・トッテン氏講演

平成23年3月15日(火)米子コンベンションセンター小ホールに於いて政治行政委員会担当の3月例会が開催された。OB会員、東部青年中央会、中部青年中央会、米子YEG、米子J.C、境港J.C、一般の方々、現役会員含め計281名もの多くの方々にご参加いただきました。



冒頭に北口会長より「東日本大震災に関して他人事とは思えず、我々にも協力する事ができないかと考え、義援金募金箱の設置についての呼びかけがあり、またオープン例会形式となるので参加された方々に対して失礼がない事、皆様に良かったと言って頂けるように会員全員気を引き締めるように」との挨拶があり、その後、永井会員にバッジ授与式が行われた。

その後手島専務理事が議長に

冒頭に北口会長より「東日本大震災に関して他人事とは思えず、我々にも協力する事ができないかと考え、義援金募金箱の設置についての呼びかけがあり、またオープン例会形式となるので参加された方々に対して失礼がない事、皆様に良かったと言って頂けるように会員全員気を引き締めるように」との挨拶があり、その後、永井会員にバッジ授与式が行われた。



選出され次年度(第37期)会長を決める臨時総会が開催された。森協会員が指名推薦され「異議なし!」と満場一致で承認された。

また、講演前には東日本大震災で被害に遭われた方々に哀悼の意を込め、参加者全員で黙祷を捧げました。



そして、久保田委員長の趣旨説明に続いて、(株)アシスト代表取締役ビル・トッテン氏をお招きしての、「温故知新。より豊かで住みやすい地域・故郷とは」をテーマにした講演会が始まった。

まず、話始められるやいなや、「今回の災害は私たち人間自身が起こした災害である。」と大胆な切り口から入られた。「第二次世界大戦後復興を遂げ、高度成長期を迎



え、人口増加に併せて技術向上にも邁進し、世の中に便利なものを増やしたが、それと共に大地を削り、改良を重ねたのが今の日本列島である。我々の幸福・健康・便利な生活はエネルギー消費に繋がっている事を認識しておかなければならない。石油に変わる原子力発電が出来るようになって、エネルギーの生産性はあがらず消費ばかりが増加している事を考えると、個々の消費欲に対する考え方・価値観を変え、少しでも昔のような自給自足の生活を取り入れ、エネルギー消費を軽減しなければ日本経済が潤う事はない。」と唱えられ講演会を締めくくられた。我々一人一人が生活に関する欲に対し見つめ直す機会を与えられた例会であったと感じた。

(記事:長谷川洋)

輝業紹介

古い事も守りつつ、新しい事に挑戦

(有)岡島水産 岡島知樹



創業42年を迎え、江戸時代から受け継がれている伝統的食品の煮干し・ちりめんじゃこを製造加工しております。先々代が隠岐から出てきて、境港で魚の配送をしたのが始まりと聞いております。現在境港は十数年前とは違い漁獲も少なくなっており、原料となるいわし等の小魚も入手が困難になってきております。弊社もちょうど今年が転換期と考え煮干し・ちりめんじゃこだけでなく、他の塩乾物にもチャレンジしています。地元の境港の魚を使い、美味しく安心して食べていただける食品を目指し、製造していきたいと日々心がけております。今後は煮干し以外の商品で皆様方の食卓に弊社商品が並ぶかもしれません。そうなれる様に日々研究開発していき弊社も自分自身も成長していきたいと思っております。今後とも会社共々宜しくお願い致します。



おすすめ ビジネス文庫紹介

紹介者:佐藤 幹典 会員

『あなたに売れないモノはない』

朝倉 千恵子 著



「5人の新人全員奨励に入賞させる。」

入社1年目の時、現場を経験するため営業部に駐在することになった。その初日に言われたのが上記の言葉だ。

保険のほの字も知らない新人が新人の面倒を見る事になった。「まあ、やるだけの事はやってみよう。」と、一生懸命まわった。中々契約が取れず、日中は会社訪問、夕方から夜は居酒屋訪問で酔っ払いの方々や友人、深夜は夜勤の人をターゲットにし訪問。活動量をどんなに増やしても中々目標まで到達できず、様々な営業ノウハウ本を読みあさった。。その中の1冊がこれである。その日からこの本の内容を実践し、適度に力を抜きつつやっていたらこんな人間になりました。僕の営業スタイルの基礎になった本。是非、読んでみて下さい。

知って得するビジネス用語

開眼法要

(有)冥賀石材店 門脇弘樹 会員

開眼法要とは、入魂式・入仏式・お霊入れ・性根入れ等、宗派や土地によって様々に呼ばれています。

「開眼」とは、供養して仏の魂を迎え入れるという意味で、お墓は建てただけではただの石に過ぎず、この儀式を済ませて初めて礼拝の対象となります。奈良東大寺の大仏も752年に開眼供養が行われました。この儀式を執り行うことで、単なる銅

像も仏像としての機能を持つようになり、お墓の場合はご先祖様の家であるお墓が完成したことを祝うという意味もあります。

開眼法要を行う時期としては、お墓を建てた後お骨を納める納骨法要と合わせて一緒にするのが一般的です。年忌法要の時やお盆・お彼岸など、親類縁者が集まりやすい機会を選ぶのが良いです。

寿陵(生前にお墓を建てること)の場合はお骨がないわけですが、この場合はお墓の完成の時期に合わせ、開眼供養のみを行うと良いです。

輝寶室

（株さんれいフーズ 代表取締役副社長
松本哲哉 O B（第16期ご卒会）



（株さんれいフーズ代表取締役副社長 松本哲哉 O B（第16期ご卒会）に、西部青年中央会での思い出を中心にお話を伺いました。

さんれいフーズでは、今までに卒会された6名のOBがおられ、松本OBには第14期会長当時の思い出を笑顔と温かい口調で話して頂きました。

会長をされていた昭和63年は186名という過去最高の会員の会員を抱え、トリアスロンへの参加、日光江戸村の視察、昭和の御世最後の御製記念碑の建立等、多くの事業が行われました。特に、昭和60年昭和天皇がわかつり国体で来県された折、宿舎の東光園から日本海に浮かぶ漁火をご覧になり、漁民の平穏を祈って詠まれた「あまたなる

いか釣り舟の漁火は 夜のうなばらにかがやきて見ゆ」の御製碑を、会員120名全員がボランティアで設計から石碑の手配・運搬・工事まで、全て自分達の手で完成させたとの事。「その頃は皆元気でパワーも有り、会員が力を合わせると何でも出来る凄い会だと感動した。」と楽しそうに思い出を話されました。

現役会員に対し「会社あつての中央会活動です。自分の為、会社の為に一生懸命打ちこんで下さい。そういう姿は人の心を打つものです。そういう会員となら会って話し、商売もしてみたいもんです。地味な活動でも人は見えています。どうか一生懸命頑張ってください。」という言葉を頂いて、初めての輝寶室取材を終えることが出来ました。

（記事：石原）



中央会をふりかえって… 手島 武司 会員



皆さんこんにちは。牛乳屋の手島です。平成13年3月第26期会長土井一朗OBの年度の3月に入会しました。あれは英国から帰国して、家業をついで5年目の事でした。

当時は某青年団体のお酒の飲み方が大嫌い、青年団体と聞くだけで断っていました。そんな僕でしたが、別の勉強会で僕を弟のように可愛がって下さったのが土井一朗OBだったのです。まるで大形クレーンでヒョイっとならまれて、ポテッと中央会に落とされたって感じて入会しました。

そして3月1日に嫌々向かった役員会、どうやら同じ新入会員らしき人が1人。めがねをかけた、僕よりチョット年上らしき青年(笑)と、とりあえず名刺交換したら・・・「あ————あなたが、大海の森脇哲雄君か!!!」

実は以前から父に「大海に婿が来たらしい。同じような年代だから、どこかで出会ったら仲良くしてやれよ」と何度も言われていて、てっちゃんも大海の当時の専務に同じような事を言われていたらしく、その上に同月入会とは、人生の出会いの必然性を強く感じた瞬間でした。あれから10年、僕と森脇てっちゃんの友情関係は今も尽きることなく続いています。

人生出会って大切ですよ、みなさん。この続きは卒会寄稿文で・・・

中央会をふりかえって… 景山 周司 会員



平成17年6月に米子コンベンション小ホールの壇上で会員バッジを頂き、あくる年は次年度委員長の挨拶、次の年は委員会活動報告と3年連続で6月に壇上

に上がりました。それから中央会生活も残すところ数ヶ月。思い出すのは入会12ヵ月後に中央会のことが何もわかっていないままに委員長をしたことと、会員の皆様と楽しい時間が過ごせる委員会や例会後がいつも楽しみだったことです。卒会後は「こんばんは」で始まり、1本締めで終わる生活が懐かしく思えることでしょう。

中央会の6年間、たくさんの方々を知り合い、多くの仲間が出来たことが私の宝物になりました。皆様に可愛がって頂き、楽しい中央会生活を送ることも出来ました。「感謝」の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

中海圏の未来へ繋がる！！ ～松江YEG in 米子～

平成23年3月11日(金)米子全日空ホテルに於いて、松江青年会議所青年部(以下、松江YEG)と西部青年中央会との交流事業が行われた。「同じ志を持った仲間として中海圏の交流をより活発にさせて、地域を活性化させていきたい」(TSC北口会長)、「地域の気質についてこだわる時代ではない。これを機に個々の結びつきを語りたい。熱い、強い交流をしたい」(松江YEG 中尾会長)と両会長の挨拶から始まった。



総務委員会、竹ノ内委員長、松江YEG地域開発委員会、福島委員長より双方の団体の紹介、活



動内容の説明があり、出席した両会員は資料を参考にしながら熱心に聞き入っていた。

その後、場所を移動して今回の最大の目的である「人と人との交流」が始まった。2時間前に初めて出会った団体の会員同士とは思えないほど盛り上がり、各自の自己紹介はユーモアと横やりで爆笑の中行われた。

その後しばらく経っても、まだまだ語り尽さない両会員同士は、場所を移動後も最後まで話は尽きず、3ヶ月以内に松江YEGの地元で交流会を行うことを約束し、帰りのバスが見えなくなるまでお

見送りして終了した。

今回の松江YEGの方々との交流は、36期総務委員会にとって、会員の思いをひとつにしてやり遂げた素晴らしい事業となり、中海圏の交流の扉がまたひとつ開かれたと思われる1日であった。

（記事：景山）



拝啓、会員様～北口会長のひとりごと～



先行きの見通しが見つからないこの時代。
顧客のニーズ、個人の価値観も千差万別。
直面した問題に遅れをとることなく、即対応すること。
先手必勝が重要です。
そして、時代の変化に対応するため、普段からスピード感をもって決断しなければなりません。
常に「その先」を見据えて進むことが、この困難な時代を勝ち抜く条件ではないでしょうか。
企業人として輝く未来を信じて「前へ」進みましょう。

「いかせてほしい!!」

♪カーブ カーブ カーブ広島 広島カーブ～♪
私は広島カーブのファンです。
高校を卒業し、8年間広島へ行きました。町はカーブ一色。見事に広島カーブの魅力に洗脳されました。その中でも、一人のサムライの猛烈なファンになったのです。
そのひとの名は 前田 智徳。
球界を代表するバッターで、野球という仕事に真正面から取り組む姿勢、また常に最高の結果を自分の努力によって求め続ける男なのです。幾多の怪我により今では往年の力は無いのですが、常に何かをやってくれる気がするのです。
「最後まで諦めちゃいけないという事を、今日また思い知らされた気がします。」彼の言葉です。自分の人生も彼を目標に真っすぐ生きていきたいのです。 (副会長:後藤太良)

3月例会を終えて…

政治行政委員会 委員長 久保田 賢

ビル・トッテン先生に関心をよせ始めたのは3年半前でした。当時、トッテン先生が「日米規制改革および競争政策イニシアティブに基づく日本政府への米国政府要望書」について日本海新聞のコラム「温故知新」に執筆されていた内容を興味深く読んだ事を覚えています。
その後もコラム・著書を読み『この方の話を是非聞きたい、出来ればライブで、そして会員の皆にも聞いてもらいたい。』と考えるようになり、今期、会長から頂いたテーマ「より豊かで住みやすい地域・故郷とは」とも合致し、その思いが3月例会で実現することが出来ました。
今例会は、委員会メンバーのみならず西部青年中央会全体の協力を頂いて、合計281名の方々にご参加を頂き、重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

新入会員
(輝委員会)

H23.03 (H22年度)入会
(推薦者) 向井(智)
内田(和)
永井 拓未 O型
株クラム 営業部部長
贈答品業
〒683-0801 米子市新開5丁目3-7
TEL 23-2488 FAX 24-2578
(KT) 080-1922-2498
(EM) rookies117@sea.chukai.ne.jp
S 56.5.20生

3月に入会させて頂きました永井と申します。
株式会社クラムでは贈り物専門店ハリラカ米子グループとして県西部3店舗にて、各種内祝・御祝・記念品などギフトを提供しています。
皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

「東日本大震災 義援金を寄付いたしました」
3月11日(金)に三陸沖を震源としてM9.0の「東日本大震災」が発生。被災者と被災地域への支援を目的に、3月例会において義援金の募集を行った。現役会員からの義援金総額は160,000円となりました。
3月16日(水)、鳥取県西部総合事務所県民局を訪問。
この義援金は鳥取県西部総合事務所を通じ、日本赤十字社へ寄付されました。会員皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。

3月度委員会報告

健康委員会
平成23年3月10日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/13名
議題/・役員会報告
・マラソンマップ作成等について

スポーツ振興委員会
平成23年3月9日(水)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/12名
議題/・役員会報告
・2月担当例会反省
・ミニバススクールについて

政治行政委員会
平成23年3月8日(火)於:米子コンベンションセンター 出席者/15名
議題/・役員会報告
・3月例会について

ビジネスメディア委員会
平成23年3月11日(金)於:ホテルサンルート米子 出席者/14名
議題/・役員会報告
・東中部との会外交流について
・HPの企画・改善等について

輝委員会
平成23年3月7日(月)於:米子食品会館 出席者/15名
議題/・役員会報告
・4月レクリエーション例会について

総務委員会
平成23年3月8日(火)於:味わいジャパン米子支店 出席者/18名
議題/・役員会報告
・ハンサム発行及び内規検証の件
・松江YEGとの交流会リハーサル等

4月役員会報告

4月役員会が平成23年4月1日(金)、米子食品会館にて開催されました。
当日の主な議題は以下の通りです。
・3月例会報告の件・次年度副会長・専務理事指名推薦の件
・次年度理事・監事・県出向役員指名推薦の件
・4月例会開催の件・5月例会開催の件 ・その他
※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

編集後記

この度の東日本大震災で亡くなられた方には心よりお悔やみ申し上げます。また、被災地の一日も早い復興を心より願っております。そして、われわれ経済人は今何をすべきか、何ができるのか、考え行動すべきだと思います。(山本)

4月例会(家族例会)のご案内

と き:平成23年4月17日(日) 9:30~14:00
ところ:シャトー・おだか(旧米子ハイツ)、尾高城址周辺
内容:ウォークラリー、パーベキュー
担当:輝委員会